

上田ケーブルビジョン創立45周年記念事業

地域文化の担い手としてのケーブルテレビ 「上田地域最初の歴史書」再復刻の取り組み

しなののくにちいさがたぐんねびょう
～『信濃國小縣郡年表』出版と連続市民講座～



編集会議



印刷会社と打ち合わせ

すでに入手困難となっていた郷土史の原点ともいえる本書を、地元の郷土史家と力を合わせ、3年にわたり594か所の修正を行った。誤字などの修正を中心に行い、筆者の生きた時代の歴史感覚を損なわないようにした。また、新たに執筆意図を理解するために、「小引」の訓読とその解釈や資料写真も加え増補版とした。

著者：上野尚志<文化8年～明治17年>



上田市への贈呈式



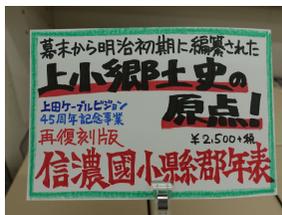
土屋市長と母袋社長（右）

編集作業を行った上小郷土研究会の役員と一緒に完成した『信濃國小縣郡年表』を上田市に贈呈。（2018年7月5日）

また、後の研究者が、どこを修正したかわかるように修正箇所を記した別冊も、合わせて贈呈。



書店での販売



39年ぶりに再復刻した本書は、上田市内4店舗で販売。書店では、ポップなどを作成し、郷土誌のコーナーで販売。（2,500円）現在まで280冊を販売。売上もランキング入り。

再復刻から市民講座への展開

『信濃国小縣郡年表』再復刻版刊行記念講座のねらい

本書を広く知ってもらおうと同時に、最新の研究成果を学び、郷土史の理解を深める場として開催
さらに講座の様子は収録し、番組としてコミチャンで放送

市民講座の様子

2018年10月27日



地元の郷土史研究家を中心とした講師陣



講座の主な内容—(全13回)

講座期間：2018年10月～2019年10月まで

開催日	主な内容	講師（敬称略）
10月27日（土）	上野尚志と『信濃国小縣郡年表』	児玉卓文
11月17日（土）	信濃を通った東山道—小縣を中心に—	川上元
12月1日（土）	信濃国分寺と寺社	倉澤正幸
1月26日（土）	絵図からみた山城	尾見智志
2月17日（日）	「小泉曲輪出土」の金箔瓦の謎 ～信之の上田城復興計画の記事から～	和根崎剛
3月10日（日）	真田氏上田在城時代創建の藩主関係屋敷をめぐって	寺島隆史
4月13日（土）	戌の満水	堀内泰
5月11日（土）	宝暦騒動	堀内泰
6月15日（土）	上田藩年貢の移り変わり	手塚若子
7月13日（土）	宝暦騒動を見直す ～小牧村手塚家文書から見た～	宮島かつ子
8月31日（土）	上田領での藍の流通	矢嶋千代子
9月14日（土）	上田藩士の縁組	小宮山千佐
10月19日（土）	『信濃国小縣郡年表』に見る江戸の生活史	尾崎行也

受講者の約9割が満足

受講者アンケートから（第1回～6回までを集計）

とても満足：37% 満足：43.5% やや満足：9.2%

どちらでもない：4% やや不満：0.1% 不満：0% 無回答：5%

地域貢献事業としての今回の取り組みは、ケーブルテレビの地域に向き合う姿勢を改めて認識してもらう機会となった。

そして、地域文化の担い手としての期待と役割を大いに感じた。